

安全データシート

サリノマイシンナトリウム

1. 製品及び会社情報

化学物質の名称	サリノマイシンナトリウム
会社名	ニッチク薬品工業株式会社
住所	神奈川県綾瀬市早川 2630 番地
担当部署	品質保証部
電話番号	0467-78-0831
FAX 番号	0467-76-1016
緊急時の電話番号	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

GHS 分類マニュアル (H18.2.10 版)
EC 規制 No 1272/2008 [CLP]

[健康に対する有害性]

急性毒性 (経口)	区分 3
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	区分 2A
皮膚感作性	区分 1
特定標的臓器毒性・全身毒性 (反復暴露)	区分 2 (心筋 骨格筋)

[環境に対する有害性]

水生環境急性有害性	区分 3
-----------	------

GHS ラベル要素

[絵表示又はシンボル]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

- ・飲み込むと生命に危険
- ・長期又は反復暴露による骨格筋、心筋の障害のおそれ
- ・皮膚刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・強い眼刺激

[注意書き]

[安全対策]

- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[保管]

- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

[国・地域情報]

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

サリノマイシンナトリウム

ソジウム(αR, 2R, 5S, 6R)-α-エチル-6- [(1S, 2S, 3S, 5R)-5 { (2S, 5S, 7R, 9S, 10S, 12R, 15R)-2-(2R, 5R, 6S)-5-エチルテトラヒドロ-5-ヒドロキシ-6-メチル-2H-ピラン-2-イル-15-ヒドロキシ-2, 10, 12-トリメチル-1, 6, 8-トリオキサジスピロ [4, 1, 5, 3] ペンタデカ-13-エン-9-イル} -2-ヒドロキシ-1, 3-ジメチル-4-オキソプロピル]-テトラヒドロ-5-メチル-2H-ピラン-2-アセテート

分子式 (分子量)

C₄₂H₆₉O₁₁Na (772. 993)

化学名	化学式	毒劇法	CAS 番号
サリノマイシンナトリウム	C ₄₂ H ₆₉ O ₁₁ Na	30-5	55721-31-8
その他賦形剤等			
炭酸カルシウム	CaCO ₃		471-34-1
無水ケイ酸 (シリカ)	SiO ₂		7631-86-9
流動パラフィン	C _x H _y (x:15~20 以下)		8012-95-1

4. 応急措置

一般情報

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用する。

汚染された作業衣は作業場から出さない。

吸入した場合

粉塵の吸入を避ける。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。

最も重要な兆候及び症状

過敏症でアレルギーのある人は、吸入するとアレルギー、喘息症状

(急性症状と遅発性症状)

もしくは呼吸困難を引き起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火器、粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消火器	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。 摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消化後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災区域から部外者を避難させる。
消火を行う者の保護	適切な自給式呼吸器（空気呼吸器）、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

アレルギー、接触性皮膚炎、慢性発疹、呼吸器系疾患の既往歴のある人は、皮膚への接触や粉塵の吸入を避ける。
作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

回収・中和

環境中に放出してはならない。土壌、河川・湖沼等への流入を防ぐ。
漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
回収後、漏洩場所を水で洗い流す。

封じ込め及び浄化方法・機材二次災害の防止策

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
全ての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
飲み込まないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
皮膚との接触を避けること。
粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
粉じんが発生する場合は、換気を行うこと。

保管

技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

保管条件

容器を密閉して保管すること。
粉塵の発生を避ける。静電気放電に対する予防措置を講ずる。
防火に関する一般規則を守る。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

許容濃度

日本産業衛生学会及びACGIH（2007年版）のいずれも設定されていない。

（暴露限界値、

生物学的暴露指標）

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。吸入しないようにし、眼、皮膚への接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状

固体

色

淡黄白色～淡褐色

臭い

特有な臭いを有する。

融点

140.0-142.0℃(サリノマイシンナトリウム)

粉塵爆発下限濃度

50g/m³以上で粉塵爆発の危険性あり。

10. 安定性及び反応性

反応性	非反応性
安定性	法規制に従った保管及び取扱において安定
避けるべき条件	湿度と温度の上昇、直射日光

11. 有害性情報

急性毒性：

サコックス®200	経口	ラット； LD50: > 324 mg/kg
サリノマイシンナトリウム	経口	ラット； LD50: 50 mg/kg マウス； LD50: 57 mg/kg
	経皮	ラット； LD50: > 2000 mg/kg
	吸入	ラット； LC50: 304.2 mg/m ³ (オス) LC50: 286.6 mg/m ³ (メス)
炭酸カルシウム	経口	ラット； LD50: 6.45 g/kg
無水ケイ酸	経口	ラット； LD50: 3.16 g/kg
	経皮	ウサギ； LD50: 5 g/kg

亜急性毒性： 雌雄ラット 最大無作用量 5 mg/kg/日

慢性毒性： ラット 最大無作用量 5.06～6.85 mg/kg/日
マウス 最大無作用量 13.28～15.50 mg/kg/日

皮膚腐食性・刺激性： サリノマイシンナトリウム
ウサギに 500mg 4 時間適用した試験で腐食性・刺激性無し

眼に対する重篤な損傷・刺激性： サリノマイシンナトリウム
ウサギに 100mg 適用した試験で著しい眼刺激有り

呼吸器感作性又は皮膚感作性： サリノマイシンナトリウム
アルビノモルモット；陰性

生殖細胞変異原性：

細菌を用いる復帰突然変異試験； *Salmonella typhimurium* , *E. coli* 陰性

培養細胞を用いる体細胞突然変異試験；マウスリンパ腫細胞 陰性

骨髄細胞を用いる小核試験；マウス 陰性

発がん性： ラット(30 ヶ月) 経口 2mg/kg までの用量で毒性無し
マウス(24 ヶ月) 経口 1.5mg/kg までの用量で毒性無し

生殖毒性： し
 サリノマイシンナトリウムの生殖毒性無し

12. 環境影響情報

生態毒性：

試験種	試験物質	結果
土壌及び水生生物毒性		
ゴールドンオルフェ (96 時間)	サリノマイシンナトリウム	LC50 27.5 mg/l NOEC <20 mg/l
	サリノマイシンナトリウム (可溶化剤；アセトン)	LC50 29.0 mg/l NOEC 10 mg/l
オオミジンコ(24 時間)	サリノマイシン菌糸体	EC50 38.7-47.3 mg/l
植物毒性		
陸上植物 (ジャガイモ、 テンサイ)	サリノマイシン菌糸体	土壌への適用量 2、20、 100 mg/m ² で影響無し
サリノマイシン配合飼料を給与した動物の糞便で処理された植物の根または葉において、サリノマイシンは検出されなかった (LOQ 10ng/g)。		

生物蓄積性： サリノマイシンは蓄積性無し
 サリノマイシンは PBT またはvPvB に分類されない

土壌中の移動度： サリノマイシンの土壌吸脱着試験では、粘土ローム、砂壤土
 およびローム性砂に強く結合した (Koc はそれぞれ180、368、
 1306)

他の有害影響： 他の有害な環境影響 (例：オゾン層破壊、光化学オゾン生成
 ポテンシャル、内分泌攪乱、地球温暖化係数) は確認されて
 いない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を
 行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、
 関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方

自治体の基準に従って適切な処分を行う。
容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	UNNo.	該当しない
	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
国内規制	陸上規制情報	毒劇法の規制に従う。
	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
特別安全対策		移送時にイエローカードの保持が必要。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

毒物劇物取締法	劇物（指定令第2条）（政令番号：30-5）
飼料安全法	飼料添加物の成分規格等収載書

16. その他の情報

主な引用文献	Huvephama Japan株式会社 安全データシート サコックス200(サリノマイシンナトリウム) 改定日2020年12月24日 科研製薬株式会社 安全データシート ユースチン-100(サリノマイシンナトリウム) 改定日2019年5月22日
--------	---